

事業番号	170
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	新居関跡周辺他発掘調査事業				担当課	社会教育課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度		担当係	芸術文化係	
総合計画	めざすまちの姿	7 歴史・伝統・文化を生かし次世代に継承するまち					
	目標	① 歴史の保存と継承					
	成果指標	文化財の保護保存に関心ある市民の割合	中間目標 (H27)	25%	最終目標 (H32)	30%	
予算区分	一般会計	10 款 教育費	6 項 社会教育費	6 目 文化振興費			
	細事業						
位置づけ	関連計画						
	根拠法令	文化財保護法					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象（誰のため）	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的（何のため）	市内に点在する埋蔵文化財包蔵地についての基礎資料とするために試掘確認調査を行い、埋蔵文化財資料を整える。						
内容（概要）	市内に点在する古窯跡・散布地等の埋蔵文化財包蔵地の基礎資料とするために試掘確認調査を実施して資料整備しておき、各種開発事業の際の保護調整資料として利活用する。						
これまでの改善・見直しの状況	毎年度3件の試掘確認調査に対応できるよう予算を確保する。 国県補助金対象であるため、補助金要望を県担当と連絡調整する。						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費	
事業費	予算	1,090	8,414	2,726	(内訳)	
	決算	1,068	6,623	→	物件費(調査経費)	5,598
財源内訳	国庫支出金		1,435		普通建設事業費(調査工事費)	1,025
	県支出金		717			
	地方債					
	その他					6,623
	一般財源	1,068	4,471			
職員人件費		2,892	209	2,985	人工	0.2 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	活動指標	試掘確認調査・新居関跡保存調査の実施	件	目標 3	4	
			実績 4	5		
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

実績・改善	平成23年度活動内容	・ 試掘確認調査 3 件、新居関跡周辺の保存調査 2 件の実施				
	課題・問題点となった事項	・ 新居関跡周辺の保存調査において、国道工事との保存にむけた協議調整が課題となった。				
	どう対処したか	・ 県担当課と打合せ、国道事業担当機関と協議を行った。				
	改善点	・ 遺跡の保存に向け、共通認識が図られた。				効果額 H24-H23 (千円)

自己評価	事業目的の達成状況	当初計画のとおり事業を完了でき、埋蔵文化財包蔵地に関する基礎情報を把握することができた。				
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	緊急の開発事業に対し、埋蔵文化財包蔵地にかかる基礎資料を提示することができなくなる。				
	判定	A 継続	現行の内容で実施	事業主体	市	
	判定理由	市内に所在する埋蔵文化財包蔵地に関する基礎情報を保有し、開発事業者に対して基礎資料を示すことが求められていることから、継続的に実施が必要である。				
今後の方向性	埋蔵文化財包蔵地資料の整備のため、事業の継続実施が必要。					